

人材の確保と質の向上

1 人材育成研修等の充実

第3章 人材の確保と質の向上

1 人材育成研修等の充実

現 状

- 少子高齢化の進展に伴い、保健・医療・福祉・介護などのサービスの増大と多様化は、今後もさらに進むと予測されています。社会の変化に伴う新たな健康課題や多様化・高度化する住民のニーズに対応するため、専門職には、より高度な専門性の発揮が求められています。
- また、医療技術の高度化・専門化や「病院から地域へ」の流れのもと、入院期間は短縮され、今まで病院で過ごす状態であった患者が在宅療養に移行しており、在宅療養に伴う医療連携や包括的な地域ケア体制を支えるための人材育成、多職種による連携・協働がより一層重要になってきています。
- さらに、保健・医療・福祉に係る職種が、住民に安定したサービスを提供していくためには、最新の知識を習得し、自己研鑽・相互研鑽しながら資質の向上を図っていくことが重要です。
- 都保健所は、保健・医療等に携わる圏域の人材育成と質の向上を図るため、南多摩保健医療圏の各市及び関係機関の要望を踏まえ、市や施設単位では実施困難な専門職種の人材育成研修を体系的に実施しています。

【平成 29 年度人材育成研修実施状況】

項目	対 象	内 容
保健師	市、保健所の新任期保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における保健師の役割 ・個別支援アセスメント ・事例検討
	市、保健所の2～3年目保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・保健活動の地域診断への展開
	市、保健所の中堅期保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの自身のキャリアプランニングを考える
栄養士	給食施設の管理栄養士、栄養士、調理師、調理従業員等	<ul style="list-style-type: none"> ・給食施設におけるムスリム対応
歯科衛生士	歯科衛生士、歯科医師等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の歯科保健医療
政策トピックス	市・保健所職員等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の保健活動と受援のあり方
食育	関係機関の食育推進担当者等	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスを今考える

- 市は、在宅療養に関わる様々な職種が、連携・協働して医療・介護を必要とする

方を支援できるようにするため、地区医師会等関係団体と連携し、医療職、介護職が相互に知識・理解を深めるための多職種によるグループワーク等の研修を実施しています。

- 保健所では、平成12年度から南多摩保健医療圏の保健・医療・福祉関係者を対象とした「地域保健医療福祉フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、各機関の取組事例等の発表を通して、保健医療従事者及び福祉・介護従事者間の連携と相互研鑽の場として活用されています。

【平成29年度 第18回地域保健医療福祉フォーラム実施状況】

対象	日時	場 所	参加人数	内 容
南多摩保健医療圏の医療・保健・福祉関係者	1月18日	八王子市クリエイティブホール	130人	演題発表 (口頭発表9題、誌上発表1題) テーマ ・高齢者、障害者等の自立した生活を支援する地域包括ケアの推進 ・地域保健医療推進プランに掲げる様々な取組

課 題

- 保健・医療等に携わる専門職の質の向上
- 多職種連携により、地域包括ケア体制を支える人材の育成

今後の取組

1 保健医療等従事者向け研修の充実

保健所は、南多摩保健医療圏の様々な職種がその専門性を高められるような効果的な研修を継続的に実施します。

2 在宅療養を支える人材育成の充実

市は、これまでの人材育成のための研修の実施状況を評価し、地区医師会等関係団体との連携のもと、医療・介護関係者の研修をさらに充実させます。

重点プラン

在宅療養を支える人材育成の充実

【指標】医療・介護関係者への研修 ⇒ 充実する

在宅医療・介護連携推進事業における 「医療・介護関係者の研修」

多摩市在宅医療・介護連携推進協議会は、平成28～29年度にかけて、在宅医療・介護に携わる専門職を対象とする研修を開催しました。

研修の目的として、『地域の専門職の顔の見える関係づくり、各職種の提供する講義・事例を、現場で従事する専門職どうしで共有・検討することで、医療介護の現場で直面した課題をチームで整理する際の一助とすること』をあげました。

8職種が、順番で企画運営を行い実施しました。また、東京大学高齢社会総合研究機構が開発した研修教材に基づき、多摩市のオリジナルの講義やグループワークを取り入れた基礎研修を年1回ずつ、計2回開催しました。参加者は、延べ738人となっています。

多職種がそれぞれの専門性を活かし連携をすることで、市民にとってより良い医療や介護の提供ができるように、研修は今後も継続していく予定です。

【多摩市医療・介護関係者の研修】

①開催日	②カテゴリー	③テーマ	④担当職種団体	⑤参加状況
平成28年度				
I 平成28年10月30日(日) 10:00～17:00 関戸公民館8階大会議室	基礎研修	在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会(領域S:認知症、オリジナル:退院支援)	高齢支援課	参加人数 62人 (内傍聴 6人)
1 平成28年7月14日(木) 19:30～21:00 コンティ多摩センター	応用事例検討	”患者の自己決定権等、医療倫理について”総合司会 田村 豊氏(医師、多摩市医師会)	多摩市医師会	参加人数 57人 (内傍聴 3人)
2 平成28年9月12日(月) 19:00～21:00 多摩市立健康センター	講義&グループワーク	”誰でも出来る口腔アセスメント”清水 政紀氏(歯科医師、一般社団法人日本訪問歯科協会常任理事)	多摩歯科医会	参加人数 81人 (内傍聴 2人)
3 平成28年12月9日(金) 19:00～21:00 永山公民館ベルホール	講義&フリーディスカッション	”在宅医療で薬剤師ができること” 會田 一恵氏(薬剤師、一般社団法人練馬区薬剤師会理事/泉イフ薬局管理薬剤師)	多摩市薬剤師会	参加人数 45人
4 平成29年2月15日(水) 19:30～21:00 関戸公民館ヴィータホール	講義&グループワーク	”訪問看護って何ぞや?事例検討 家族の個性を強みに活かす訪問看護”小川 正義氏(訪問看護認定看護師、もろびと訪問看護ステーション代表)	訪問看護情報交換会	参加人数 96人 (内傍聴 5人)
平成29年度				
I 平成29年9月10日(日) 10:00～17:00 関戸公民館8階大会議室	基礎研修	在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会(領域S:がん緩和ケア、オリジナル:退院調整)	高齢支援課	参加人数 57人 (内傍聴 3人)
1 平成29年6月28日(水) 19:30～21:00 関戸公民館8階大会議室	講義&グループワーク	”公益社団柔道整復師ができる 在宅医療&介護予防”吉田 省吾氏(柔道整復師、公益社団法人東京都柔道整復師会常務理事)	東京都柔道整復師会南多摩支部	参加人数 92人 (内傍聴 13人)
2 平成29年9月19日(火) 19:30～21:00 関戸公民館ヴィータホール	講義&グループワーク	”在宅でのリハビリテーション～活動と参加、連携”東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻 吉井智晴准教授	多摩訪問リハビリ連絡会	参加人数 85人 (内傍聴 1人)
3 平成29年12月13日(水) 19:00～21:00 関戸公民館ヴィータホール	グループワーク	”住み慣れた街で安心して在宅生活を送るために～多職種で考えよう、本当に必要なサービスってなんだろう～”	多摩市介護保険事業者連絡協議会	参加人数 104人 (内傍聴 4人)
4 平成30年2月21日(水) 19:30～21:00 関戸公民館ヴィータホール	グループワーク	”退院患者さんがよりよい終末期を送るために必要なこと～あなたの大切になっていることを教えてください～”	多摩市病院相談員連絡会	参加人数 59人 (内傍聴 1人)

